

2013年度社会学科学事報告

[学部・大学院担当教員]

2013年度(平成25年度)末をもって人間科学部社会学科は完成年度を終える。人間科学部社会学科に所属する専任教員は、秋吉美都、宇都榮子、大矢根淳、勝俣達也、金井雅之、川上周三、後藤吉彦、今野裕昭、嶋根克己、永野由紀子、馬場純子、樋口博美、広田康生、藤原法子(教授11名、准教授3名)であるが、秋吉美都教授は専修大学特別研究員(特例)として米国インディアナ大学で、今野裕昭教授は長期国内研究員として研究活動に専念された。

したがって大学院は、宇都榮子、大矢根淳、勝俣達也、金井雅之、川上周三、後藤吉彦、嶋根克己、永野由紀子、馬場純子、樋口博美、藤原法子、広田康生に加え、鐘ヶ江晴彦文学部教授の計13名の専任教員体制で教育が行われた。

2013年度の兼任講師の先生方は、青木武信(国際協力論)、宇田和子(地球環境問題)、大崎裕子(社会統計法・実習)、織田和家(社会学特殊講義B)、小田昌教(社会学特殊講義E)、久保山亮(エリア・スタディーズB-2)、権香淑(エリア・スタディーズB-1、社会調査実習A・B、基礎ゼミナール)、小藪明生(資料とデータの分析法、質的分析法)、今野晃(社会学101、102、社会学特殊講義A、文献研究A・B)、佐久間孝正(多文化共生国際社会論、専門ゼミナールB、社会学原論1、2)、神野賢二(社会学201、202、基礎ゼミナール、社会学特殊講義C)、徐玄九(社会学101、102=神田、社会学201、202、社会調査実習A)、塚越健司(ネットワーク・メディア論1、2、専門ゼミナールA、専門ゼミナールB)、中尾暢見(社会学101、102=神田二部、社会学201、202=神田)、名和田是彦(地方自治論)、福重清(社会調査実習A、資料とデータの分析法、質的分析法)、堀内史郎(社会統計法・実習)、松橋達矢(資料とデータの分析法、質的分析法、基礎ゼミナール)、見田朱子(社会統計法・実習、社会調査実習A)、宮本直和(民俗学1・2)、吉原直樹(地域社会学A-1、A-2、専門ゼミナールA)の諸先生に御出講いただいた。

また社会学研究教員室の事務補助員として勤務されてきた後藤暁子氏が2012年度末をもって退職されたため、後任として栗田智美氏が入職され、入江玲子氏とともに勤務された。

[専攻学生・院生(2013年5月1日現在)]

2013年度人間科学部社会学科在籍者は、1年次生145名、2年次生141名、3年次生131名、4次生163名および5年次生以上(文学部人文学科社会学専攻)は23名であった。

大学院文学研究科社会学専攻の院生は、修士課程1年次生1名、2年次生3名、3年次生2名、博士後期課程は2年次生1名、3年次生1名、4年次生1名、5年次生1名の合計10名。

<2013年>

4. 5 入学式(日本武道館)

3. 28-3. 30 学部ガイダンス期間

4. 8-8. 3 前期授業期間

4. 10 社会学科1年次生基礎ゼミナール合同授業・懇親会

7. 10 大学院修士論文中間報告会

7. 24 専修社会学会第1回研究会

報告者：権香淑兼任講師（早稲田大学アジア研究機関招聘研究員）

題目：「日本で暮らし、日本を生きる中国朝鮮族」

<社会調査実習学外授業>

8. 4-8. 6 広田康生教授担当社会調査実習 東京都新宿区新大久保、百人町

8. 5-8. 8 嶋根克己教授担当社会調査実習 宮城県仙台市、石巻市、気仙沼市

8. 26-8. 29 樋口博美教授担当社会調査実習 石川県金沢市、加賀市

8. 27-8. 30 馬場純子教授担当社会調査実習 長野県上田市真田町

9. 1-9. 3 権香淑兼任講師担当社会調査実習 新宿・新大久保コリアンタウン

9. 3、9. 13、9. 20 見田朱子兼任講師担当社会調査実習 専修大学

9. 9-9. 10 川上周三教授担当社会調査実習 墨田区役所、日本基督教団東駒形教会、本所賀川記念館、賀川豊彦記念松沢資料館・日本基督教団松沢教会

9. 9、9. 27 徐玄九兼任講師社会調査実習 東京都立第五福竜丸展示館、日吉台地下壕

9. 10-9. 12 勝俣達也准教授担当社会調査実習 山形県山辺町、寒河江市

9. 12-9. 13 福重清兼任講師社会調査実習 専修大学

<社会調査士実習学外授業>

8. 3-8. 5 大矢根淳教授担当社会調査士実習 兵庫県神戸市長田区御蔵

8. 5-8. 6 永野由紀子教授担当社会調査士実習 宮城県塩竈市浦戸諸島

8. 6-8. 8 藤原法子准教授担当社会調査士実習 東京都多摩市

<生涯学習調査実習1, 2学外授業>

8. 27-8. 29 鐘ヶ江晴彦教授生涯学習調査実習 千葉県館山市

9. 21-1. 20 後期授業期間

10. 9 専門ゼミナールガイダンス

10. 10-11. 8 研究室訪問期間

10. 15 修士論文題目届

10. 30 大学記念日

11. 1-11. 4 鳳祭

11. 11 専門ゼミナール入ゼミレポート提出締切

11. 13 大学院修士論文中間報告会

11. 26 専門ゼミナール第一次ゼミ所属決定

11. 27 大学院博士論文中間報告会

12. 7 外国人留学生入学試験

12. 11 専門ゼミナール第二次ゼミ所属決定

12. 16 卒業論文提出締切日

1. 8 文献研究 A / 社会調査実習 A 履修ガイダンス

1. 10 大学院修士論文提出

1. 18 - 1. 19 大学入試センター試験

1. 21 - 1. 27 卒論口述試験期間 (定期試験期間)

1. 29 専修社会学会大会・総会

<総会> 13:30 ~ 14:00

開会の辞・司会: 永野由紀子

事業報告: ①『専修社会学』担当 藤原法子

② 研究会担当 永野由紀子

会計報告: 後藤吉彦

会計監査報告: 金井雅之

次期会長挨拶: 馬場純子

<代表論文報告> 14:00 ~ 15:30

司会: 博士後期課程 小森田龍生

第1報告: 星野晴輝 (金井ゼミ) 「若年層未婚者における独身理由の形成要因 - 「目標」化する結婚 - 」

(講評: 修士課程 呉佳)

第2報告: 山内夏穂 (嶋根ゼミ) 「『縮小する世間』とマナーの局所化 - 他者がいることの意味 - 」

(講評: 特別聴講生 Nguyen Tuan Khoi)

第3報告: 竹内麻子 (塚越ゼミ) 「教師からみるスクールカースト - これからの学校の姿 - 」

(講評: 修士課程 小沢明彦)

閉会の辞

2. 1 スカラシップ・全国入試

2. 3 大学院修士論文口述試験

2. 9 - 2. 13 一般前期入学試験

2. 21 社会学科兼任教員懇談・懇親会

2. 28 一般後期入学試験

2. 28 『人間科学論集社会学篇』第4巻第2号刊行

3. 1 大学院修士Ⅱ期・博士入学試験

3. 5 編入学・学士入学試験

3. 21 学部卒業式 (日本武道館)、大学院学位授与式